

第7回学習会「フォーラム・子どもたちの未来のために」

戦時下のデザインと戦争協力

戦中、プロパガンダを目的とした対外宣伝グラフ誌がいくつも刊行されました。その代表的な「FRONT」「NIPPON」を詳しく見るとともに、光吉夏弥が編集長を務めた「Travel in Japan」にも触れていきます。これらの雑誌には、名取洋之助、原弘、河野鷹思、山名文夫、亀倉雄策、木村伊兵衛、土門拳など戦後に活躍する俊英たちが集まっていました。

講師：澤田精一（絵本学会）

日時：12月8日（金）18:00~20:00

場所：日本出版会館（新宿区袋町6）日本出版クラブ会館の隣の建物

会費：1,000円



「FRONT」創刊号



「NIPPON」3号



「Travel in Japan」創刊号

○次回の予告

第8回学習会「戦時下の紙芝居」講師：酒井京子、2018年3月9日（金）18:00～、童心社ホール

（仮題）「いわさきちひろが描いた戦争と子ども」講師：松本猛、2018年夏（日時・会場は未定）

主催：「フォーラム子どもたちの未来のために」(<http://www.f-kodomotachinomirai.com/>) 実行委員会

絵本学会、絵本作家・画家の会、童話著作者の会、日本国際児童図書評議会

日本児童図書出版協会、日本児童文学者協会、日本ペンクラブ「子どもの本」委員会

○お申し込みは、上記各団体、もしくは以下の問い合わせ先へお願いします。

日本児童図書出版協会 /Mail:kodomo@kodomo.gr.jp/ Tel 03-3267-3791、Fax 03-3267-5389